

2022-2023 Governor's Bulletin

PILOT INTERNATIONAL JAPAN DISTRICT 2023.6



ガバナー 木村 裕紀
ガバナーエレクト 佐藤 万里子
ルテナガバナー 羽根 由

書記 福井 美穂
会計 神田橋 恵里子



Spreading Pilot Sunshine

パイロットの光をすみずみまで行きわたらせよう!

パイロットインターナショナル101年目、日本ディストリクト第33期、一般社団法人として第3期を迎えた2022年～2023年度です。コロナ感染症に対する措置がようやく緩和され、日常は以前のように戻りつつあり、今年は周年行事、イベントが数多く開催されました。会員は皆さんお変わりなく、嬉しい再会の年となりました。一方でこの3年という自粛・自重の月日は、時の重さを突きつけました。再会の後、再び活動を再開できるのか、それとも自重の延長となっていくのか、日本のパイロットは非常に大きな岐路に立たされています。以前のような大きな活動が難しくなってしまった、と感じておられる皆さん、今まで培った人との縁を大切にしながら、可能な事を前向きに、もう一度計画を見直し、持続可能な私たちのパイロット活動を組み立てましょう。



今年度のパイロットインターナショナル本部の状況をご報告いたします。

今期の入会の会員は643名です。4つのアンカークラブ、コンパスクラブ1つが新設されました。(今年認証式が行われたHIGOパイロットクラブは昨年度末の認証の扱いとなります。)今期毎月開催されたPIパワーアワー(第1土曜日)のオンライン勉強会は、時には100名を超える参加者があり、大変有益であった、との報告がありました。

パイロットインターナショナル創設者基金(PIFF)の助成内容については6ページでご紹介いたします。アメリカでは501C3の適用団体ということもあり、寄付を集めやすい環境が整っていますが、日本各クラブからも沢山のご寄付がありましたことをご報告いたします。

日米ともにパイロット全体で高齢化が進み、Z世代登用が進行しつつあります。新しい方、新しい世代が入ってくると、当然、今までのパイロットは…、パイロットとは…という話が顔を出し、時には軋轢を生じます。気になることも多々あるかと存じますが、次世代が集めてくるのは次世代の方々です。変容しても文化が変わらなければ、それで良いのではないのでしょうか。今年度のローナ・エスピノーザPI会長が、「褒める言葉は迅速に、注意をするときは半分に」と、よく仰っていました。パイロットは世代を超えた友人ができる場所です。高齢者だけでなく、若い世代であっても社会的フレイルは起こり得ます。年の差に関係なく、職業や経験も関係なく、対等な立場でお互いの友情を深めましょう。

最後に、私にとってのパイロットは学ぶところ、自分自身を見つめなおすところ、であります。皆さんはいかがでしょう。パイロット活動に対してのみならず、隣の誰かに対して、流行っている何かに対して、好奇心を枯らさないことが、皆さんをより輝く存在にしてくれます。そういう楽しい仲間のオーラに惹かれて新しい会員もきっと増えます。パイロットらしく、誰に対しても敬意をもって接し、誰もが楽しく、高め合えるクラブをこれからも目指してまいります。一年間、共に歩んでくださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

PI日本ディストリクト
2022-2023年度ガバナー

木村 裕紀